

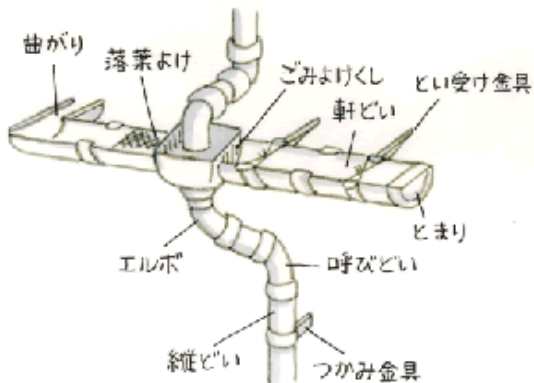
★雨どいのメンテナンス

雨どいの役割は「屋根から流れ落ちる雨水を受けて、スムーズに排水させること」です。落ち葉や ゴミが詰まったり、はずれていたり、破損していたりすると、雨水は うまく雨どいを流れません。その結果、軒下や 壁に 雨水が直接当たり、建物が傷んでしまいます。

手ぼうきなどで、ふだんから たまっている落ち葉や 土ぼこりなどのゴミを取り除くといった **おそうじを こまめにしましょう。**

縦どいが 詰まっている場合は、エルボなどを はずして 上にボロ布を結びつけた針金を通して、下から引っ張ります。

●雨どいの構造



雨どいを交換するときは、**取り外す前に、どの部材に どのような部品を使っているかを 確認**しておき、新しいパーツを購入するときの参考にします。

雨どいのサイズには 2種類あり、ひとつは 軒どいの幅が100mm、縦どいの直径が55mmというもの。もうひとつは、軒どいの幅が105mm、縦どいの直径が60mmというものです。

よく測ってから 購入しましょう。

●集水器の水もれ

集水器がずれて、軒どいの穴からはずれている場合

穴の中心にくるように、集水器を ずらして直します。

集水器と縦どいの継ぎ目から もれている場合

まず、集水器に バケツなどで 水を注ぎ、どこからもれているかを 確認します。

水もれの場所が 見つかったら、「雨どいボンド」を埋め込んで 補修します。

雨どいボンドは、塩ビ波板、塩ビパイプの補修にもつかえます。



●雨どいの ひび割れ

雨どいが ひび割れたときは、ひびが大きく広がる前に 早めに補修しましょう。市販されている「**雨どい用の補修テープ**」が便利です。

テープを貼る部分は、汚れや水分を あらかじめ よくふきとっておき、テープを ひびの大きさに合わせて、カットして貼ります。

テープを貼ったら 付属のヘラで よくこすって密着させましょう。



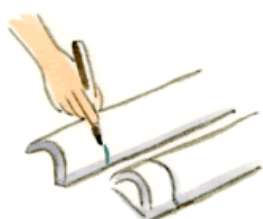
●雨どいの交換

1



とい受け金具の交換は、古い金具をはずして、穴を木工用パテなどで埋め、2~3cm横に新しい穴をあけます。

2



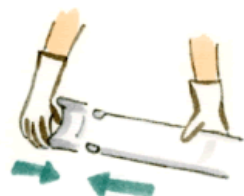
雨どいを切るには、はずした古い雨どいに合わせて印をつけ、塩ビ用ノコや金切りノコなどで切断します。

3



軒どいや曲がりなどを継ぎ手で接続する場合は、雨どい用接着剤を塗ってしっかり接着します。

4



軒先の高くなる側の雨どいの端は、接着剤をつけた「とまり」をしっかりと差し込みます。

5



集水器部分は、塩ビ用ノコで軒どいに3本の切り込みを入れて、集水器に差込み、切れ目を下に折り曲げます。

6



縦どいを「つかみ金具」で固定して、「呼びどい」でそれぞれのエルボを接着して、集水器と縦どいをつなぎます。

7



「とい受け金具」の先端を「軒どい」の内側に折り曲げて、「軒どい」をしっかりと固定します。